

そのとき、あなたはどうしますか？



▲降雨により増水した杉原川（三和橋付近）

いつ起こるか分からない自然災害が発生したとき、私たちはどうすればよいのでしょうか。
梅雨の到来を前に、近年日本各地で被害をもたらす集中豪雨・台風・竜巻などの風水害から身を守るために何を準備すればいいのでしょうか。さらには、東日本大震災発生以降の電力不足への不安もあります。
普段の生活の中で、非常事態への備えについて考えます。

昨年9月の台風第12号では、市内でも家屋への浸水、堤防の崩落、道路の冠水、井堰の破損や農作物の被害が発生し、市災害対策本部から避難勧告を発令する事態となりました。過去の教訓も生かし、いざというときに備え、対策を考えておきましょう。

日ごろの備えが大切です

いざというときに準備の間はあります。あわてないためにも、日ごろから家の内外の点検や、避難場所や避難の方法、連絡方法などについて、家族全員で話し合いを行

家の点検をお願いします

家の周囲の点検を行い、植木鉢やごみ箱はすぐに片付けられるようにしておきましょう。また、屋根や看板、ブロック塀の点検をし、雨どいに落ち葉などのごみがたまっていないか確認をしてください。家の周りの側溝の掃除もお願いします。土砂やごみがたまっていると、水路が溢れ道路冠水などの被害につながります。

台風接近時や大雨が降り出したら

気象情報に注意

テレビ、ラジオ、インターネットなどさまざまなところから情報が入手できます。気象情報に注意しましょう。また、警報発表時には全国瞬時警報システム（J-ALERT）が作動し、自動的に防災行政無線から警報発表の放送が流れますので、台風接近時などは、防災行政無線の放送にも注意してください。また、早めに家の周りなどの飛びやすそうな物があれば片付けてください。

防災行政無線から避難の情

こんなところに注意

・電気のブレーカーを切り、火の元を確認しガスの元栓を閉じてください。
・風が強いときなどは、頭部を保護しましょう。
・単独での避難は避け、近所の人たちと集団で避難してください。
・冠水している道路を歩く場合、長靴は滑りやすく、水が入ると重くなり脱げやすいので、運動靴を履いてください。また、路面の状況が分からず、道路側溝などの深みにはまるなどの危険が伴います。長い棒などを杖代わりにして、確認しな

要援護者への協力

要援護者とは、災害時に一人で避難することが困難な人や、避難に時間を要する方のことをいいます。ひとり暮らし、高齢者のみの世帯や障害者の方など、自力で避難することが困難な方への地域の方々の声かけや、避難するときの援助をお願いします。また、日ごろから町内の要援護者の方などに気をかけていただき、台風接近時などに速やかに対応ができるよう、心がけておいてください。

万が一に備えて

「フェニックス共済」に加入

兵庫県住宅再建共済制度「フェニックス共済」とは、あらゆる自然災害に対応する共済制度で、兵庫県が条例に基づき実施している信頼の制度です。住宅再建共済は年間5,000円の掛金で最大600万円、家財再建共済は年間1,500円の掛金で最大50万円の給付が受けられます（被害程度により、金額に変動あり）。住宅再建共済と家財再建共済との同時加入や、複数年加入で割引の制度もありますので、詳しいことは、公益財団法人兵庫県住宅再建共済基金 ☎078-362-9400 までお問合せください。

非常持ち出し品の確認

リストを作っておき、いざというときには速やかに荷物がまとめられるようにしておきましょう。重すぎる避難の際に支障が出ることもあり、できるだけ軽量でコンパクトな物を選びましょう。

◎持ち出し品リスト

- ・保険証・証書類
- ・現金やカードなど
- ・非常食・飲料水
- ・ラジオ
- ・懐中電灯
- ・衣類やタオル
- ・救急医薬品

家族でこんなことを確認

自宅、職場、外出先など、どこで災害に遭遇するか予測できません。また、家族全員が自宅にいるときに、災害が発生するとも限りません。家族とどうやって連絡を取り合うのか確認しておきましょう。避難経路での危険箇所、家の中で一番安全な場所、消火器はどこにある、近所の要援護者の方、誰が何をもち出すか、家族が最終に出会う場所、持ち出し袋はどこに

Interview



ふるさと創造部防災対策課 森脇達也課長

安全・安心なまちづくりに向けて

西脇市では、災害をできるだけ未然に防ぐための対策に取り組んでいます。防災対策課としては、災害発生時に市民の皆さんが早期に避難を行うことができ、二次災害発生予想個所を避けることができるよう浸水想定区域や土砂災害警戒区域、地震による被害想定を盛り込んだ総合的なハザードマップを今年度作成し、全戸配布する予定です。

また、少しでも安全な場所へ避難をしていただくため、現在指定しています避難所についても、各区長さんと調整しながら見直しを検討しています。

日ごろからの備えとして、自主防災訓練も積極的に推進しています。

市民の皆さんも、平常時から防災意識を持って訓練に参加し、いざという時には、自分の命は自分で守るため早い段階での避難（自助）、近所でお互いに助け合って行動（共助）するよう心がけましょう。

気象情報をここから確認できます

- インターネットでは、次のサイトから気象情報を入手することができます。
 - 兵庫県防災気象情報（気象情報）
<http://hyogo.bosai.info/>
 - 国土交通省川の防災情報（河川水位・雨量）
<http://www.river.go.jp/>
 - 兵庫県CGハザードマップ（浸水想定区域の表示）
<http://www.hazardmap.pref.hyogo.jp/>
 - 気象庁ホームページ（気象情報）
<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>
 - XバンドMPLレーダー雨量情報（雨量情報）
<http://www.river.go.jp/xbandradar/>

NHKのデータ放送では、杉原川の中町観測所と西脇観測所（小坂）、野間川の下野間観測所、加古川の上戸田（上流）観測所と板波観測所の水位を見ることができます。（平成24年5月21日から西脇観測所と下野間観測所が加わりました。）

携帯電話のメールで配信する「にしわき防災ネット」の登録方法はP.25をご覧ください。



▲テレビNHKデータ放送画面



TenTou's (テントウズ)の皆さん
図書館を今よりも良くしたいという、子育てグループや読み聞かせグループ、個人で構成されています。(平成23年11月結成)

みんなに親しまれる図書館を目指して

●北播磨地域の図書館の貸出状況 【平成22年度】

図書館名	自市町民一人当たりの貸出冊数	自市町民の登録率
西脇市	3.0冊	31%
三木市	7.8冊	45%
小野市	9.2冊	37%
加西市	6.3冊	46%
加東市	11.4冊	38%
多可町	6.6冊	30%

図書館の貸出冊数は7年連続で伸びており、7年前と比較すると1.5倍になっていますが、近隣市町と比較するとまだまだ少ないのが現状です。現在図書館では、特に子どもの図書を充実させ、また、おはなし会を開催するなど読書のすそ野を広げようとして取り組んでいます。

今回は、利用者の皆さんにとって図書館がもっと身近になるよう西脇市図書館サポート隊「テントウズ」と一緒に「春の図書館まつり」を開催(5月13日)。竹内日出男さんの講演をはじめ、子ども向けの読み聞かせ、母の日の工作など親子で楽しめるイベントとなりました。



Kenji Kikuchi (テントウズ)は、図書館の充実を目的に結成したグループです。このテントウズという名には、市民一人当たりの年間貸出冊数を10冊にしようという思いを込めています。近隣の図書館が

今年も電力供給はきわめて厳しい状況になると予測されます。仮に電力需要が供給量を上回った場合、大規模な停電が発生する可能性があります。ひとたび停電が発生すると生活にかなりの影響が及ぶものと考えられます。

大規模停電を回避できるかは、電力需要のピーク時に使用量をいかに抑えるかにかかっています。電力消費のピークは平日の午後2時ごろです。特に午後1時から4時ごろを中心に節電にご協力をお願いします。

読書スタイルを見直してみませんか

テントウズ代表 菊澤大助さん

頑張っている中で、西脇市ももっと親しまれる図書館にしようという気持ちで活動をしています。

皆さんに提案したいのは、読書のスタイルを見直すこと。いつも借りている冊数にあと何冊か余分に借りることで、今までは読まなかった作家との素晴らしい出会いがあるはず。また、夏休みを狙って自由研究や読書感想文の応援にも取り組んでいきたいと考えています。

本をたくさん読んで想像力を養おう

竹内 日出男
西脇市図書館名誉館長



日本人は平均して、1日当たり4時間もテレビを見ているというデータがあります。これは世界と比較しても多いと言えます。テレビが普及して私たちが手にする情報は飛躍的に多くなりました。しかし一方で、テレビが人間の想像力を低下させるというマイナスの要素を忘れてはいけません。それに加えて子どもたちの身の回りにはテレビゲームなどの娯楽が溢れています。

活字から想像することは子どもにとっては非常に大切なこと。読書を通して想像力を鍛えていただきたいと思います。

市からの避難情報

市では、河川水位の状況に応じて防災行政無線の屋外拡声子局よりサイレンを吹鳴し、情報伝達を行うとともに、避難に関する情報を3段階に分けて発表しています。(下表)

サイレン吹鳴の後、防災行政無線から避難の区域などの放送が流れますので、家におられる方は防災行政無線の放送に、また外で作業をされている方は、サイレンが聞こえる場合は注意してください。

ここが「電池ランプ」です



▲戸別受信機

戸別受信機の電池も忘れずに

ご家庭の防災行政無線の戸別受信機は、停電になると予備電池に切り替わります。

しかし、電池の容量が不足していると受信できない場合があります。「電池ランプ」が赤く点滅している場合には、早急に電池を交換してください。

○避難情報の発令○ 3段階に分けて発令します

避難準備情報	避難の準備を始めましょう	高齢者や障害者など、避難に時間を要する要援護者が避難行動を開始しなければならない段階です。要援護者の避難を支援される方は、支援行動を開始してください。通常の避難行動ができる方は、避難の準備をしてください。
避難勧告	避難を始めましょう	人的被害の可能性が明らかに高まった状態です。通常の避難行動ができる方は、避難してください。
避難指示	直ちに避難してください	避難勧告発令時よりさらに被害が発生する危険性が高いと判断された状況です。避難していない方は、直ちに避難してください。

○西脇市の水防信号○ 下表のようにサイレンを吹鳴します

区分	サイレン信号	水位	意味
第1信号	約60秒	消防団待機水位	消防団等出動準備
第2信号	約20秒 約10秒 約20秒 休止	はん濫注意水位	消防団等出動避難準備情報
第3信号	約8秒 約5秒 約8秒 約5秒 約8秒 約5秒 約8秒 約5秒 約8秒 休止 休止 休止 休止 休止	避難判断水位	避難勧告
第4信号	約60秒 約5秒 約60秒 約5秒 約60秒 休止 休止	はん濫危険水位	避難指示

今夏 節電にご協力を

節電対策をお願いします

家庭での節電対策メニューは左表をご参考ください。また、公共施設や買い物など涼しい所(クールスポット)へ出かけ、できるだけ電気を使わないように努めてください。

熱中症に注意しましょう

しかし、エアコンの利用を控えすぎると、家の中でも熱中症になる危険があります。特に、お年寄りや小さいお子さんがいらっしゃるご家庭、また、体調がすぐれない場合などは、エアコンや扇風機を利用ください。無理のない範囲でご協力をお願いします。

家庭での節電対策メニュー

機器など	節電対策メニュー
エアコン	・室温28℃設定を心がけましょう ・すだれやよしずなどで窓からの日差しを和らげましょう ・無理のない範囲でエアコンの利用を控え、扇風機を使いましょう
冷蔵庫	・冷蔵庫の設定を「強」から「中」にかえ、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品をつめこまないようにしましょう
照明	・日中はできるだけ照明を消しましょう
テレビ	・省エネモードに設定するとともに、画面の輝度を下げ、見ないときはこまめに消しましょう
パソコン	・ディスプレイの輝度を下げましょう ・一定時間使用しないときは、「スタンバイ」状態にしておくことで電力消費を抑えることができます。 ・使用していないOA機器はコンセントを抜きましょう
温水洗浄便座	・便座の温度を下げる、温水の温度を下げる、タイマー節電機能があればこれらを利用しましょう
ジャー炊飯器	・早朝にタイマー機能で1日分をまとめて炊き、冷蔵庫で保存しましょう
待機電力	・リモコンの電源でなく、本体の主電源を切りましょう。 ・長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜いておきましょう

◆問合せ 防災対策課 (市役所内線0779-330050)

電力緊急時は防災行政無線、にしわき防災ネットワークでもお知らせします。